

令和7年度大豆生育定期調査結果 No.4 (北上市 成熟期の生育・収量・品質)

岩手県農業研究センター 生産基盤研究部 水田利用研究室 (TEL:0197-68-4412, FAX:0197-71-1081)

1 生育・収量

6月5日播種の「リュウホウ」及び「シュウリュウ」の成熟期は、平年に比べ3～4日遅く、青立が多発した。両品種とも、主茎長は平年並から短く、総莢数及び稔実莢数が少なかった。また、両品種とも百粒重は平年より重く、大粒（粒径7.9mm以上）の割合が高かったが、稔実莢数が少なかったため、子実重（単収）は平年より少なかった（表1）。7月から8月の少雨が落花・落莢につながり、総莢数を低下させたことが、青立の増加や子実重の低下の要因となったと推察される（図1）。

6月19日播種の「リュウホウ」は、前年と比べ、成熟期は7日遅く、青立はやや目立ったものの、主茎長は並で、稔実莢数は多かった。また、百粒重も重く、子実重（単収）はやや多かった（表1）。

表1 成熟期調査・収量調査結果

品種 (播種日)	年次	成熟期 (日)	諸障害発生程度			主茎長 (cm)	主茎 節数 (節/株)	分枝数 (本/株)	総 莢数 (莢/m ²)	稔実 莢数 (莢/m ²)	一莢内 粒数 (粒/莢)	百粒重 (g)	大粒 割合 (%)	子実重 (単収) (kg/a)
			倒伏 (0-5)	青立 (0-5)	蔓化 (0-5)									
リュウホウ (6/5)	R7年	10/16	0.0	4.0	0.0	55.7	15.5	4.6	735	692	1.76	38.6	90.5	40.4
	平年	10/13	0.2	1.1	0.2	56.4	14.7	5.3	765	724	1.90	34.9	83.1	45.4
	平年差・比	+3	-0.2	2.9	-0.2	-0.7	+0.8	-0.7	96%	96%	93%	111%	+7.4	89%
	前年	10/10	0.0	1.0	0.0	48.1	14.0	4.9	761	679	1.83	31.5	64.9	34.9
シュウリュウ (6/5)	R7年	10/14	0.0	3.5	0.0	53.1	15.3	3.9	599	541	1.76	43.0	98.6	38.4
	平年	10/10	0.2	1.2	0.3	59.1	15.6	4.8	752	680	1.80	34.9	91.1	40.5
	平年差・比	+4	-0.2	2.3	-0.3	-6.0	-0.3	-0.9	80%	80%	98%	123%	+7.5	95%
	前年	10/07	0.0	1.0	0.0	51.5	15.1	4.7	820	725	1.83	30.9	84.0	36.1
(参考) リュウホウ (6/19)	R7年	10/27	0.0	3.0	0.0	58.4	15.6	3.2	924	801	1.74	37.4	86.3	37.0
	前年	10/20	0.5	2.0	1.5	58.3	13.7	3.8	827	669	1.60	34.3	78.0	34.5
	前年差・比	+7	-0.5	1.0	-1.5	+0.1	+1.9	-0.6	112%	120%	109%	109%	+8.3	107%

※1 「平年」は令和2～6年の平均値。ただし、「リュウホウ（6月19日播種）」は令和6、7年の2か年のみ実施。

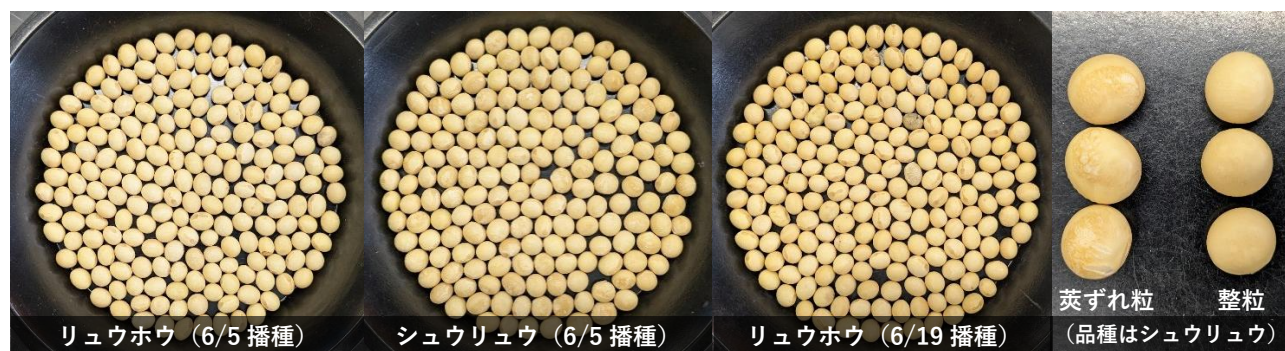
※2 「諸障害発生程度」は、0（無）～5（甚）の6段階評価で、いずれの障害もは場での達観による評価。

※3 「大粒割合」は粒径7.9mm以上の割合。 ※4：「子実重（単収）」は粒径5.5mm以上の坪刈収量。

2 子実外観品質

子実外観品質は、「リュウホウ」及び「シュウリュウ」とも平年より劣り、農産物検査では、「リュウホウ」は「虫害（特に、カメムシ類による吸汁害）」、「シュウリュウ」は「裂皮」が格付け理由であった。また、「シュウリュウ」に発生した「莢ずれ」は、夏期の記録的高温年であった令和5年度並に多かった（表2）。

6月19日播種の「リュウホウ」の子実外観品質も前年よりも劣り、「裂皮」、「しわ」、「虫害」が主な格付け理由となったが、6月5日播種の同品種より「莢ずれ」の割合が少なかった（表2）。



参考図 各供試品種の子実外観と「莢ずれ」粒の外観

表2 子実外観品質調査結果

品種 (播種日)	年次	外観 品質 (1-7)	農産物検査		障害粒の発生割合(%)									
			等級 (1-10)	落等 理由	紫斑	褐斑	裂皮	しわ		未熟	べと	腐敗	虫害	莢ずれ
								ちりめん	亀甲					
リュウホウ (6/5)	R7年	4.0	7.5	虫害	0.0	0.5	5.6	4.2	0.0	1.2	0.0	0.0	7.9	11.8
	平年	3.8	5.0	-	0.6	0.0	7.1	8.6	0.7	3.3	0.1	0.4	2.6	(参)
	平年差	+0.2	+2.5	-	-0.6	+0.5	-1.5	-4.4	-0.7	-2.1	-0.1	-0.4	+5.3	R6 0.7
	前年	3.5	3.5	粒揃、しわ	0.0	0.0	5.0	30.8	0.5	2.7	0.2	0.0	3.0	R5 41.5
シュウ リュウ (6/5)	R7年	5.5	9.5	裂皮	0.6	0.5	10.9	1.0	0.2	0.3	0.2	0.2	4.8	38.2
	平年	3.6	4.3	-	1.3	0.1	7.3	7.0	0.6	2.4	0.4	0.4	2.8	(参)
	平年差	+1.9	+5.2	-	-0.7	+0.4	+3.6	-6.0	-0.4	-2.1	-0.2	-0.2	+2.0	R6 2.3
	前年	3.0	3.0	-	0.0	0.2	4.8	23.3	0.0	1.4	0.2	0.0	4.7	R5 38.3
リュウホウ (6/19)	(参考) R7年	3.0	8.0	裂皮、しわ、虫害	0.4	0.4	4.2	3.6	0.0	2.2	0.7	0.7	9.7	2.5
	前年	3.5	3.5	粒揃	0.0	0.2	7.2	23.8	0.3	1.4	0.2	0.0	4.1	1.0
	前年差	-0.5	+4.5	-	+0.4	+0.2	-3.0	-20.2	-0.3	+0.8	+0.5	+0.7	+5.6	+1.5

※1 「外観品質」は1（上上）～6（中下）、7（下）の7段階評価。
 ※2 「等級」は1（1等上）～9（3等下）、10（規格外）の10段階評価。
 ※3 「裂皮」および「しわ」は軽微なものを含む。
 ※4 「莢ずれ」は3か年（令和5～7年）のみの評価のため、平年値の記載は省略した。

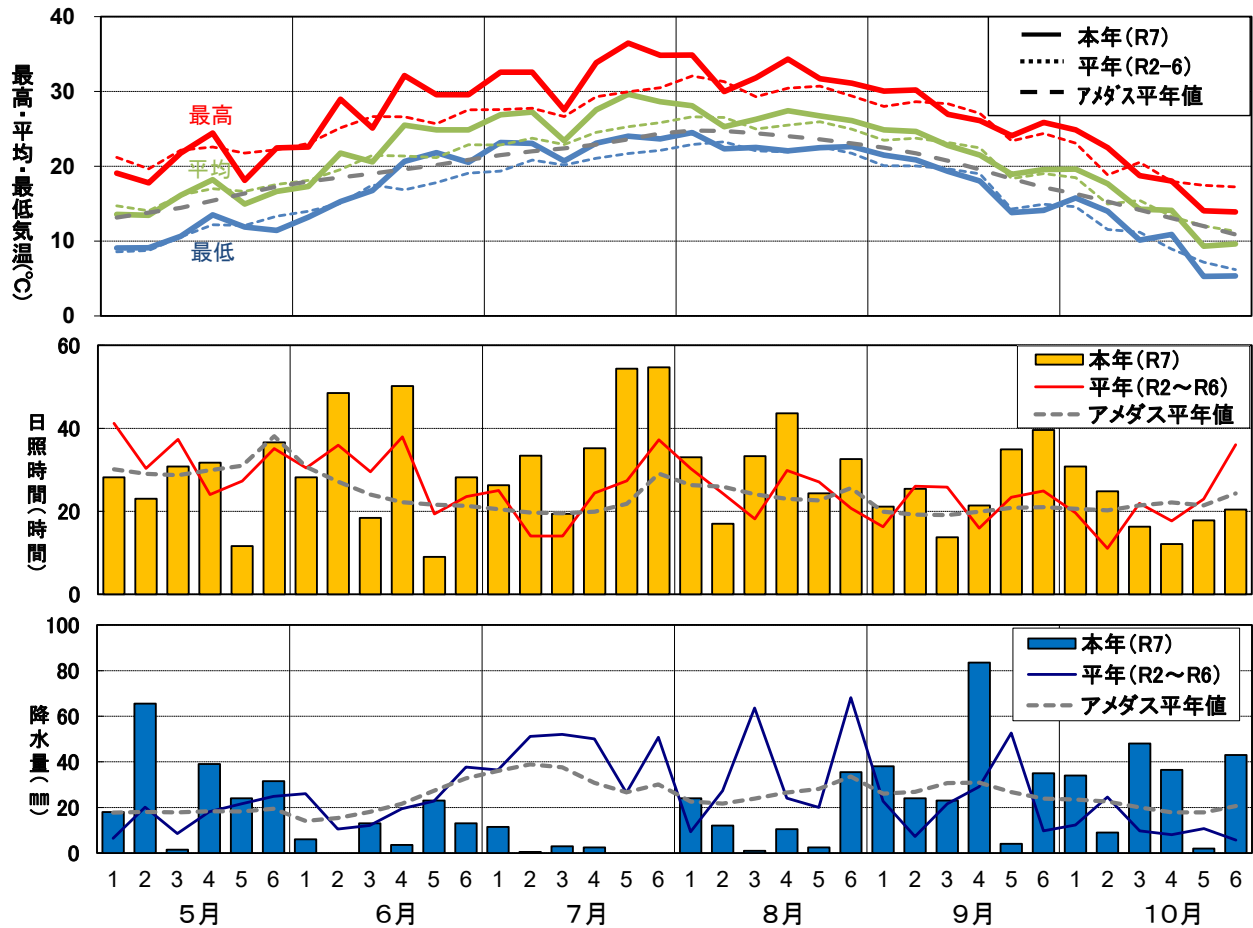


図1 気象経過図（アメダス北上）

※1：「平年」は令和2～6年の5か年の平均値。
 ※2：「アメダス平年値」は気象庁公表の平成3年～令和2年の30か年平均。

〈耕種概要〉

- 調査場所 農業研究センター：北上市成田 標高90m 淡色多湿黒ボク土（水田転換2年目）
- 播種日： 6月5日（リュウホウおよびシュウリュウ）、6月19日（リュウホウのみ）
- 栽植密度 6月5日播種：9.5本/m²（畦間70cm、株間15cm、1株1本仕立て）
6月19日播種：14.3本/m²（畦間70cm、株間10cm、1株1本仕立て）
- 施肥量（kg/10a）：N 4、P₂O₅ 12、K₂O 10、牛糞堆肥 1t/10a
- 雑草防除：エコトップP乳剤 600mL/10a（播種後出芽前）
- 中耕・培土：7月8日、7月17日